

今回のテーマ「国際的な人の往来再開に向けた段階的な措置-続報⑬」について

1/11（火）水際対策強化にかかる新たな措置（24）が発表になりました。

2022年1月11日 日本経済新聞 夕刊



新たな新型コロナウイルス対策を公表する岸田首相（11日午前、首相官邸）

首相が明らかにしたコロナ対策の方針	
水際対策	2月末まで現在の骨格を維持
ワクチン接種	大規模接種会場を設置。3月以降、3回目の一般分を前倒し。12歳未満に早期開始めざす
医療提供体制	医療現場に自衛隊の看護師を派遣
保健所	業務の合理化を図りつつ必要な即応体制を確保
学校・入試	休校時のオンライン授業、追試や再入試など入試機会の確保

首相官邸で記者団の取材に答えた。変異型「オミクロン型」の重症化率が低い可能性を踏まえ、「マスク着用など冷静な対応をお願いする。高齢者などで急速に感染が広がる」と述べた。ワクチンの3回目接種も加速し、一般への接種を早める。

大規模会場再開設へ

首相官邸で記者団の取材に答えた。変異型「オミクロン型」の重症化率が低い可能性を踏まえ、「マスク着用など冷静な対応をお願いする。高齢者などで急速に感染が広がる」と述べた。ワクチンの3回目接種も加速し、一般への接種を早める。

岸田文雄首相は11日、外国人の新規入国の原則停止を柱とする新型コロナウイルスの水際対策は「2月末まで現在の骨格を維持する」と表明した。外国人の入国を念頭に「人道と、国益上の観点から必要な対応をする」と述べた。ワクチンの3回目接種も加速し、一般への接種を早める。

水際対策「来月末まで」 一般も追加接種前倒し

首相

高年齢者接種に関し「900万回分の未使用ワクチンを活用してさらに前倒しする」と説明した。3月以降は米モデルナ製のワクチン1800万人分を活用し、一般への3回目接種を早める方針を示した。これまで対象外だった12歳未満の子供へのワクチン接種は「希望者」にできるだけ早く開始する」と述べた。

外だった12歳未満の子供へのワクチン接種は「希望者」にできるだけ早く開始する」と述べた。在宅・宿泊療養に対応する地域の医療機関数は1万6000となった。「計画をさらに3割上回る体制が準備できた」と話した。米メルク製の飲み薬について「1万5000の医療機関・薬局が登録し、2万人分を届けている」と説いた。米ファイザーの飲み薬も「2月中でできるだけ早くの実用化を目指す」と示した。大学入試は「追試・再追試などにより入試機会を確保する」と説明した。「4月以降の入学を可とするなど柔軟な対応を要請する」と言及した。オミクロン型の濃厚接触者らが大学を受験できるか

という懸念があった。感染者数が増えること、健康所や自治体の負担が重くなる。IT（情報技術）を活用した保健所に頼らないネットワークの整備は骨格を維持する半面、南アフリカなどから在留資格を持つ外国人が原則に直接依頼すると明かされた。

した。オミクロン型がひろがる地域では「業務の合理化を図る」と訴えた。水際対策を巡って政府は骨格を維持する半面、必要で、認める」と発言した。留學生の入国は「対応を検討している」と触れられた。

水際対策強化に係る新たな措置（24） （オミクロン株に対する水際措置の強化の継続）

令和4年1月11日

「水際対策強化に係る新たな措置（23）」（令和3年12月28日）において、当面の間、継続することとした、「水際対策強化に係る新たな措置（20）」（令和3年11月29日）における、「2. 外国人の新規入国停止」及び「3. 有効なワクチン接種証明書保持者に対する行動制限緩和措置の見直し」については、本年2月末までの間、継続するものとする。

（以上）